

子育て 8つの指針

木曾岬町教育委員会
木曾岬町福祉健康課



「子育て 8つの指針」作成にあたって

子どもが一人の人間として成長するために、子育て、教育はとても大切です。とりわけ、親（保護者）や地域、教職員のかかわりはとても大切です。この指針では、子育てしていく上で大切にしたいことを、発達段階に応じて示しました。この指針を参考に、親（保護者）や地域と学校、幼稚園・保育園が協働して、子育てや教育を進めていきましょう。

No.	項目	こども園	小学校		中学校
			低学年(1～3年)	高学年(4～6年)	
①	安心感・信頼感	しっかりと抱きしめ、目を見てやさしく語りかけよう。 悪いことをしたときは、きちんとしかりよう。	しっかりと抱きしめ、かけがえのない大切な存在であることを言葉や態度で伝えよう。正しくないことは、きちんとしかりよう。	かけがえのない大切な存在であることを言葉や態度で伝え、任せられるところは任せていこう。	過干渉・過保護にならない程度に、目配りを怠らず、変化があれば声をかけ、かけがえのない大切な存在であることを伝えていこう。
②	聞くこと	手をとめ、目を見て、じっくりと園でのお話を聞く機会をもとう。	手をとめ、目を見て、じっくりと学校でのお話を聞こう。	じっくりと話を聞くことを大切にしながら、子どもと意見のやりとりをしていこう。	じっくりと話を聞くことを大切にしながら、自らの生き方を語っていこう。
③	あいさつ・礼儀	自らが手本となり、あいさつや「ありがとう」を言おう。場に応じたあいさつやお礼が言えたときはほめよう。	自らが手本となり、あいさつや「ありがとう」を言おう。場に応じたあいさつやお礼が言えたときはほめよう。	自らが手本となり、あいさつや「ありがとう」を言おう。社会の中におけるあいさつの大切さを伝えよう。	自らが手本となり、あいさつや「ありがとう」を言おう。社会の中におけるあいさつの大切さを伝えよう。
④	我慢する力	我慢する体験をさせ、できたときはほめよう。	目標に向かって我慢する体験をさせ、できたときはほめよう。テレビやゲームは時間を決めてやらせよう。	自分や他の人のために、時には我慢することが大切であることを教えよう。テレビやゲームは時間を決めてやらせ、その約束をしっかりと守らせよう。	自分や他の人のために、時には我慢し協力することが大切であることを教えよう。テレビやゲームは時間を決めてやらせ、その約束をしっかりと守らせよう。携帯電話を持たせる場合は、使い方についてもルールを話し合い、守らせよう。
⑤	後かたづけ お手伝い 家事分担	後かたづけは最後までできるように、見届けよう。	後かたづけはしっかりとさせ、できたときはほめよう。	食後の後かたづけなど、家族の中で決まった役割を分担をさせていこう。	決まった家事分担を担わせ、家族の一員としての自覚をもたせよう。
⑥	生活リズム	決まった時間に起き、朝食を食べ、夜は早く寝るように、生活リズムを整えよう。	早寝、早起き、朝ごはん9時までには寝かせましょう。	早寝、早起き、朝ごはん10時までには寝かせましょう。	早寝、早起き、朝ごはん翌日に疲れが残らないように寝ましよう。
⑦	読書	少しの時間でも絵本の読み聞かせをしよう。	たくさんの本に出合わせる機会を確保しよう。	本の世界の“体験”を通して、豊かな心を育てましよう。	読む本のジャンルを広げるように声かけし、多面的な見方・考え方を育てましよう。
⑧	家庭学習		宿題は、毎日決まった時間に決まった場所でさせよう。	宿題は必ず行わせ、宿題以外にもその日の復習をさせていこう。	宿題は必ず行わせ、その日の復習と次の日の予習をさせていこう。